

# 『看護覚え書』の序章を掲載！

続き4

## 病人の看護はほとんど理解されていない

7. 女性は誰でも良い看護師になると、しばしば言われたり書かれたりしてきた。しかし私は、それどころか、看護をまさに構成しているこれらの基本要素についてさえ、実はほとんど知られていないと確信している。

8. だからと言って私は、看護師がいつもその責めを負うべきであると言っているのではない。衛生上の不備や建築上の不備、あるいは管理運営上の不備などが、看護を不可能にしているようなことも、よくある。しかし看護の技術というものは、私の考えている看護が実現できるように、これら諸々の不備の調整を図ることそのものをも、含んでいるべきなのである。



## 看護は回復過程を支援すべきである

9. 最初に挙げた一般論への反論に戻ろう。もし我々がこう尋ねられたとしたらどうであろう。こんな病気が回復過程と言えるのか？このような病気に苦痛がともなわないことがあり得るか？どういう世話をすれば、こういう患者にあの痛み、この苦しみを起こさずに済むのか？これらに対し、私は知らないで一応答えておく。しかし、その病気による症状を取り除くのではなく、私が述べた自然の回復過程をうまく進める要素の1つまたは全部が欠けたために患者に現れる痛みや苦しみを、もしあなた方が全て取り除いてしまったら、その時こそ、その病気から切り離せない症状とか苦痛とかがどんなものであるかお互いに納得できるであろう。

# なう 看護部Nau

平成28年11月  
第26号発刊  
社会医療法人  
財団董仙会  
恵寿総合病院  
看護部管理室

## スーパームーンのように輝いて。



11月14日(月)68年ぶりのスーパームーンを鑑賞できましたか？ 次回見られるのは、2018年になるそうです。

さて、本橋敏美看護部長は、恵寿総合病院看護部始まって以来のサードレベル研修(10月31日から11月18日の3週間、12月5日から12月20日まで)に挑戦中です。看護管理業務の多忙な中、部長自らが学ぶ姿勢を輝かせ、難しい課題に取り組んでいます。無事に研修が終了するように、各フロアの師長・主任さんをはじめ看護職の皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。



## 事例研究発表会Ⅱで、成長見せる！

11月11日(金)講堂で、2年目看護師による、事例研究発表Ⅱがありました。講評を担当した堀内礼子師長は、一人ひとりの発表者に講評をしたあと、発表者全員に「発表を終えての感想について、達成感、安堵感、やらされた感などどのような気持ちでしょうか？」と問いかけた。さらに「今回の発表の目的は、事例検討をもとに自分の看護を振り返り、アセスメント能力を高めることで日々の看護に活かし、患者に寄り添う看護の実現を目指すことにあつたと思います。今日の発表が発表のための振り返りではなく、これからも患者さんの気持ちを一番に考え、これでよかったのかな？これって看護かな？と常に振り返り、絶えず気づく、評価して今よりももっともっとよい看護を目指し努力してもらいたいと思います。」と話されました。



次回Ⅲは、12月9日(金曜日)です。

## 第3回抗がん剤投与研修 修了者6名誕生

10月31日、第3回 抗がん剤投与研修が修了しました。修了者は、6階西：平山千香子、5階東：高橋真寿、宮島文也、5病棟3階：水口ふじ美、藤本友紀子、小島弥生さんの6名です。化学療法室での研修は、半日ずつでしたが、「楽しい」という言葉が聞かれました。化学療法は敬遠されがちと思っていただけにその言葉は、指導者のモチベーション向上に繋がりました。指導者にとっても毎日が学びと感じています。ありがとうございます。今後、修了者の皆さんが病棟で関わる際、研修での学びが、意味のあるものでありますようにと願っております(がん化学療法認定看護師：片岡克美)。今後、12月10日頃から、これまで研修修了した看護師へのフォローアップ実践研修を化学療法室で行っていく予定です。

写真1：5東宮島文也看護師

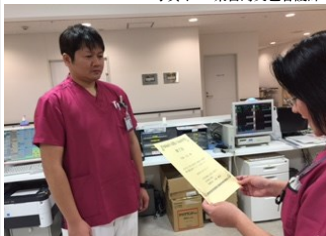


写真1：5病棟3階小島弥生看護師

### ◎心筋梗塞の患者への看護と私の看護観について

本館4階西：堀井 栞

### ◎軟性コルセットの装着に拒否のある患者との関わりを通して

本館5階西：古藤 真由

### ◎認知症患者の身体拘束について

本館6階東：山本 美佳

### ◎身体抑制を行う患者への看護の関わり

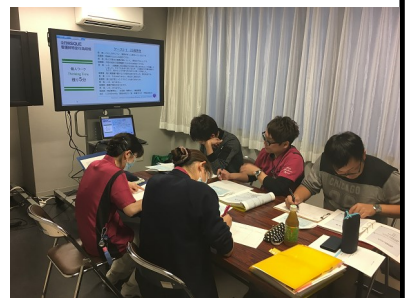
本館6階西：豊田 亜弥子

### ◎認知症のある患者との関わりを通して

本館6階西：山本 紗也

## 看護師特定行為研修、集合研修始まる！

11月28日(月)から、イノベーション・ハブ ラボ2に研修生、指導医が集まり、eラーニングを見ながら、臨床推論の演習授業で、症例検討を行いました。これまで、個々にeラーニングによる講義を重ねてきた学習の成果で、活発な討議が行われ、研修生の成長を伺わせました。共通科目の演習・実習は、来年3月末まで続きます。

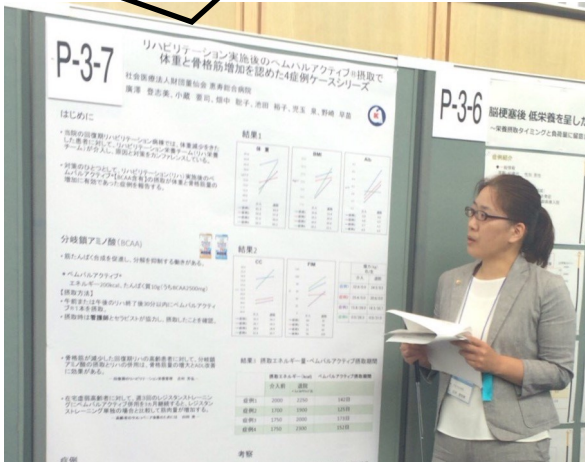


# 今月の担当は5病棟4階です

私たちの病棟は回復期リハビリテーション病棟です。  
24時間・365日訓練室のリハビリに加え、生活の中でもリハビリを行います。個々にあったケアを心がけています。

転入時に体重や筋力が減少する患者がいます  
・・・今回リハビリ栄養チームが介入し  
ペムパルアクティブR飲用が有効であった。

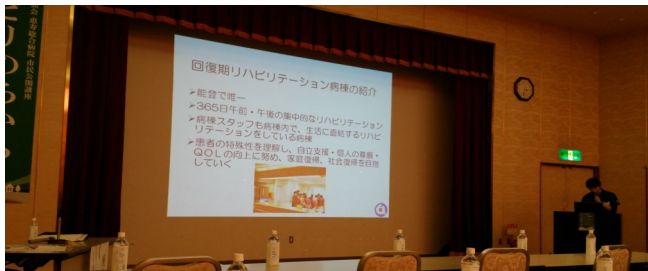
## 日本リハビリテーション栄養研究学会



10月23日 富山県で開催された  
日本リハビリテーション栄養研究会主催  
ポスター発表に参加しました。  
【発表内容】  
リハビリテーション実施後のペムパルアクティブR摂取で  
体重と骨格筋量で体重と骨格筋量増加を認めた4症例につ  
いて発表しました。  
質問5件・ペムパルアクティブ選定理由・対象患者選定理  
由・高齢者で、検証を今後考えるか。  
介入前後で、摂取エネルギー量の変化の有無について。  
食事摂取状況はどうかなどありました。  
【発表者：廣澤登志美】

薬剤ではなく栄養補助食品です、興味のあるかた是非病棟までご一報ください。

**11月よりPNS導入しました。**  
これまで以上に看護師・介護福祉士がパートナーシップを  
発揮し、その人らしい生活が送れるように退院支援に  
努めたいと思います。



**市民公開講座 11月19日(土)**  
  
リハビリのちから  
～こんなリハビリもあります～  
  
5つのテーマで発表がありました。  
  
回復期リハビリ病棟と訪問リハビリのちから  
と題しまして、当病棟の取り組みも発表しました。  
  
発表者は理学療法士松本康嗣さんでした。



**クリスマスツリー**  
ただいま  
作成中です♪  
松ぼっくりに雪が  
積もっている



能登地区唯一の  
回復期  
リハビリテーション  
病棟として  
地域に貢献する

**抑制ゼロ**にむけて離床機会を増やす試み  
レクリエーションを行っています  
午前：作品づくり、歌、回想法など  
午後：ゲーム(魚釣り、缶ボーリング、風船バレーなど)  
口腔体操・ラジオ体操・脳トレ・作品づくり